

# パブリックコメント実施結果報告書

平成24年1月23日

担当課	中山間振興・定住促進課
担当者	福田
連絡先	0857-26-7129

意見公募のテーマ：鳥取県の中山間地域の振興について

## ①手段別意見応募件数（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合には、3（1）と記載してください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民課・県民局へ	その他の方法	計
1（1）	（ ）	14（10）	（ ）	（ ）	15（11）

※「その他の方法」の例：意見交換会、電話、イベントなど

## ②応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した （一部のみ反映したものを含む）	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買い物の機会や生活交通の確保、見守り活動などは過疎・高齢化の進む中山間地域のライフラインであり、強力な施策展開を期待する。</li> <li>・ 農林業、公共事業が今日のようなのでは、全てが作文に終わる。今後は老人福祉であり、生活保護の問題となる。</li> <li>・ ひとり暮らしの高齢の母親のために週末毎に買い物して実家に帰るが、かなりの負担。田舎では次々と店が無くなっており、高齢者にとって買い物は深刻な問題。</li> <li>・ 高齢者の増加や食料品店の減少に伴い、食料品アクセス問題が顕在化。高齢者の健康と栄養問題に代表されるフードデザート等、多様な側面からの問題解決が必要。</li> <li>・ 中心産業である農林業が元気になるいと活性化はできない。TPP加入など今後益々逆風が予想される中、中山間地域の農林業を守るためには思い切った施策が必要。</li> <li>・ 山の掃除を提案する。それほど重労働ではなく、山林の風通しが良くなり、山が活性化して農産物が取れ、販売も可能。雑木、雑草は燃やして発電して売ることもできる。</li> <li>・ 現在の特産品等は、売る側からの視点に偏りがち。買う側と一体となったものづくりのアプローチが求められる。</li> <li>・ 原発事故は、日本のエネルギー政策の中長期的なあり方と見直しを問うもの。再生可能エネルギーの導入を条例に盛り込むべきとしている点に賛成し、期待したい。</li> <li>・ 中山間地域の課題は多面的で複雑化している。他県でも企業、NPO、行政等が横の連携を模索する機運が生まれており、立場を越えた場の設定が打開への一歩になる。</li> <li>・ 専業農家が減少し、半農半Xという生き方も始まった。地域を支える団体においても、複合経営は、経営基盤を支え、多様な人材を活用・養成する上で有効な発想。</li> </ul>
既に盛り込み済み	1	・ 中山間地域振興の多くの課題は、市町村が主体的な役割を担うもの。それを踏まえて県として何が出来るかの整理が必要。
今後の検討課題	1	・ 中山間地域では農業の振興が必須だが、TPPの結果次第では何もかも駄目になる恐れがあり、万全の対策が必要。
対応困難	1	・ 中山間地域に投資すべきではない。費用対効果が悪すぎる。
その他 （例：施策の体系外の意見等）	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議論の背景にあるデータを示さないと、課題やキーワードの妥当性がピンとこない。条例制定からこれまでの経過についての批判的・建設的な議論も不可欠。</li> <li>・ 次期中山間地域対策の重点ポイント、条例見直し事項等、詳しく教えてほしい。</li> </ul>
計	15	

※上記による分類が困難な場合は、担当課の整理に基づく分類で差し支えありません。

## ③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

→とりネットのパブコメページ・  
県庁ロビー掲示板で公表します。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネット （実施担当課）	報道機関への 資料提供	県議会への報告	県民課等での 縦覧等	広報誌等への 掲載	その他
○	○	○			

※「その他」の例：審議会報告など

注：③「意見募集結果の概要」には、意見に対する県の対応方針も記載してください。  
参考：H22実施結果 → <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=127691>